

下に、局の他の委員と心からして協力することに同感であるかどうか。又出版せられたる凡ての文書を局へ贈送するに賛成であるかどうか。

(五) その會は或種の兒童に對する社會事業に従事して居るかどうか。

(六) 若しそれが私設のものなりせば、果してそれがよく團結一致して居るかどうか。

(七) それは其の事業の報告をまとめて適宜に合理的に發表するかどうか。

(八) 會が有給の、而して訓練せられたる理事者、實際家を有するかどうか。

(十) 會がその組織と財政上に於て永久的な確信を與へる様な方法で建設せられたりや否や。

本會が現在の名稱によりて一層の適當したる名稱の選擇は未だに決定して居ないが、アメリカ兒童福祉同盟會(The child welfare League of America)といふ名が、最も有望に考へられて居る。又其の本部をウオシントンに置くべきか、シカゴに置くべきか、又はニューヨークに置くべきかといふことも決定して居ない。アーステン氏は一九二一年一月一日から彼の務を開始するであらう。

以上は大體サーヴェ誌の記載によつたのであるが恐らくは今後米國兒童福祉増進に關する事業は非常なる發展を表はすであらう。

○判りにくい乳兒の病

感冒による子供の發熱、苦惱は誰でも直氣付き易いが、此頃幼児の間に素人には不明の熱が出て親々を心配させる事が少くない、確な醫者に見せれば未だしも其儘に放擲つて遂取返しのつかぬ結果となる場合もあるが其不明發熱の原因中此頃最も多いのは中耳炎耳腔デフテリア、咽頭扁桃腺炎等である、乳兒の中耳炎は最も罹り易い病氣で初めは左程でもないが甚だしくなると發熱して泣き續ける、其時外部的に何か異變があればよいが迂濶に過して危険に導く、だから乳兒が理もなく泣いて發熱した場合は先づ中耳炎と目して醫師にかゝる必要がある、耳腔デフテリアも中耳炎同様危険である、唯此方は發熱も低く苦惱も割合に少いから一層知り難いが、鼻が詰つて鼻血が出るのが昂進の特徴である、咽頭扁桃腺炎は軽い熱を出すのみで、苦痛を訴へず此病氣だけなら大した事もないが中耳炎を併發する憂ひがあるから早く治さなければならぬ、是等病氣の原因は種々複雑な關係もあるが先づ此頃ならば風邪引かせないことが肝心だ、尙此頃子供に多いのは呼吸困難を來す病氣でそれは咽喉膿瘍と喉頭下腔浮腫とである後者は夜間睡眠中に呼吸が苦しくなる爲に突然ビヨコンと飛び起きて又間もなく寤て了ふといふ妙な症狀を呈する、矢張り危険な病氣である、今一つ氣付き難い乳兒病は乳兒脚氣で特徴は乳兒の聲が嘎れることで是は却々治り難くしかも危険極まるものであるが母親が脚氣に罹り乍ら母乳を哺る場合に起すものである(醫學士小野鐵造氏談)